



福祉・心理

人間関係(福祉相談)のスペシャリスト

- 主な業務：児童虐待や子どもの養護・非行・DV・障がいに関する相談への対応、心理検査や心理療法、生活保護世帯への支援 など
- 主な配属先：児童相談所、福祉相談センター、朝日学園（児童自立支援施設）、こども医療療育センター、総合支庁福祉担当課 など

現在の担当業務は

児童相談所の相談内容は、児童虐待、発達の遅れ、育児不安、非行など多岐に渡ります。児童心理司は面接、心理検査、観察等によって子どもの心理アセスメントを行い、必要に応じた支援をしていきます。子どもや家族を支援していくために、学校・市町村・病院等の関係機関と話し合いをすることもあります。また、知的障害を有する方をサポートするために、県で交付している療育手帳の判定業務も行います。

県職員を選んだ理由は

大学・大学院では心理学を専攻し、講義の中で、様々な心理支援に関する専門機関へ見学に行きました。県内の児童虐待の実情を知ったことで、生まれ育った山形県で自分がこれまで学んできたことを活かして働きたい気持ちがより一層強くなり、県職員を志望しました。

職場の雰囲気は

担当児童の面接をするにあたって、どのような心理検査をとるか、どのように進めていけばよいか等、困っていることや分からないことを先輩や上司にその都度相談し、助言を受けながら仕事をしています。新しい知能検査が導入された際には、同期や先輩が検査の練習に付き合ってくれます。



判定業務の様子



プレイルームで面接

生まれ育った山形で自分が学んできたことを活かしたい



本間 清子

福祉相談センター
(令和5年度採用)

保育士

子どもたちの笑顔を守るプロフェッショナル

- 主な業務：施設に入所している障がい児の生活指導・自立支援、障がいがある通所児の保育や保護者への相談支援 など
- 主な配属先：最上学園、やまなみ学園、鳥海学園、こども医療療育センター、児童相談所、鶴岡乳児院、朝日学園 など

現在の担当業務は

福祉型障がい児施設での、入所児童の健康管理や情緒の安定を図りながら、基本的な生活習慣、独立自活に必要な知識や技能を身に付けられるように支援をしています。また、短期入所や日中一時をご利用される地域の児童の療育、学園行事の立案・計画を行っています。

県職員を選んだ理由は

障がい児保育についての知識を深めたいと考えた時、自分の考える条件に合っていたのが県職員でした。福利厚生や休暇制度なども選んだ理由の一つです。

職場の雰囲気は

悩んだことや困ったことは、1人で抱え込まずに上司や先輩に相談しながら仕事ができます。

県職員になって良かったことは

児童の支援をする上で、どうすればよかったのかと悩むことが多いですが、児童の成長を近くで見られた時はやりがいを感じます。悩みは尽きませんが児童と一緒に楽しみながら充実した日々を過ごしています。



クリスマスイベントの様子



ハロウィンイベントの様子

児童の成長を近くで見られたときにやりがいを感じます



土田 璃星

鳥海学園
(令和4年度採用)

獣医師

人と動物の「生命」を科学的に見つめるスペシャリスト

- 主な業務：公衆衛生分野（動物愛護管理、狂犬病予防、食品衛生等）、畜産分野（家畜伝染病予防、家畜衛生等）など
- 主な配属先：食肉衛生検査所、衛生研究所、総合支庁（保健所、家畜保健衛生所）、農業総合研究センター畜産研究所・養豚研究所 など

現在の担当業務は

と畜場に搬入された家畜を全頭検査し、食用に適しているか否かを判断すると畜検査を主に担当しています。検査を行う家畜の4割以上に病変が見つかり、判断には獣医師としての知識と迅速性が非常に必要のため非常にやりがいがあります。また、普段取り組んでいる調査研究を取りまとめ、研修会で発表したことは、知見を深めると同時に学ぶこともたくさんあり、自身のスキルアップにつながりました。

県職員を選んだ理由は

検査や指導に加えて、調査研究など幅広い業務に携わることができ、獣医師の知識を活かせる職場と思い志望しました。

県職員に興味がある方へメッセージを

衛生獣医は、獣医学の知識を基に幅広く食の安全に貢献しています。県外出身や他業種からの転職者も多く活躍されているので、興味のある方はぜひチャレンジしてみてください。

様々な職種の人との人脈も広がります



東城 なつみ

庄内総合支庁
産業経済部家畜保健衛生課
(令和4年度採用)

〔入庁後の経歴〕
令和4年度 最上総合支庁産業経済部
家畜保健衛生課
令和5年度～現職

現在の担当業務は

家畜の疾病予防や生産性が向上するように検査や聞き取りを実施します。その結果を基に農場の状況や衛生管理を見直し、農家さんへ指導を行っています。指導が疾病対策の一助となることに大きなやりがいを感じます。

県職員になって良かったこと、感じたギャップは

デスクワークもありますが、現場へたくさん出ます。様々な職種の人とも関わりがあるため、人脈が広がります。

職場の雰囲気は

仕事で分からないことがあれば、上司の方は優しく教えてくれます。公務員は堅苦しいイメージがあるかもしれませんが、ランチ会を行うこともあり、親睦を深めています。

転職者も多く活躍しています



漆山 尚也

庄内食肉衛生検査所
検査指導課
(令和4年度採用)



と畜検査の様子



PCR検査の様子

薬剤師

薬と公衆衛生のエキスパート

- 主な業務：調剤や病棟における薬剤管理業務、医薬品や食品等の安全確保のための許認可や監視指導、疾病予防のための検査・研究 など
- 主な配属先：県立病院、健康福祉部健康福祉企画課、総合支庁（保健所）、衛生研究所 など

現在の担当業務は

調剤室担当として、内服薬及び外用薬の処方監査・調剤を行い、薬剤の在庫管理もしています。また、外来患者さんへの休薬指導や医療用麻薬の導入指導、入院患者さんの持参薬鑑別と業務は多岐に渡ります。病棟においては、主に外科や耳鼻咽喉科の入院患者さんに服薬指導を行っています。



調剤の様子

職場の雰囲気は

業務量が多く目まぐるしい日々の中でも、お互い協力し合いながら業務を行える職場環境です。カンファレンスや回診などで他職種の方々と関わる機会もあります。

県職員を選んだ理由は

山形県職員は行政と医療機関のどちらにも従事する可能性があります。そのため、より多くの経験や知識、さらには仕事をしていく上での広い視野を得られると思っ県職員を希望しました。

より多くの経験や知識を得られます



原田 莉沙

新庄病院 薬剤部
(令和3年度採用)

〔入庁後の経歴〕
令和3年度 置賜総合支庁
保健福祉環境部生活衛生課
令和6年度～現職